

PTA 広報 大いおか

第159号

令和元年12月13日発行
高岡市PTA連絡協議会

会長 宮田 淳也
広報委員長 山口 泰祐

事務局：高岡市教育委員会
生涯学習・文化財課内
TEL (0766) 20-1227

学校、地域、PTAが一体となって取り組む
「資源回収」



50周年を迎えて

高岡市立南条小学校
祝 創校50周年記念式典



創校50周年 切磋琢磨し、
仲間とともに歴史を創った運動会!!



田植えからずっと稲の成長を観察し、迎えた稲刈り
田植えと稲刈りをお手伝いした「お米」の味は?



20年以上続く戸出東部小学校の
「ヒタオリエンターリング」



も く う

市P連活動紹介 P 2・3

特集
第68回 日本PTA全国研究大会
富山大会 P 4・5

シリーズ
各学校PTA紹介 P 6・7

▶志貴野中学校 ▶こまどり支援学校
▶能町小学校 ▶成美小学校 ▶万葉小学校

市P連
活動紹介

委員会・部会の活動

第2回 小・中部会 9月28日(土)

教育長と語る

「未来を担う子供たちを育むこれからの高岡市の教育充実」

高岡市PTA連絡協議会の第2回小・中学校部会が、9月28日(土)ウィングウィング高岡で、開かれ、市内の小・中学校のPTA会長らが「未来を担う子供たちを育むこれからの高岡市の教育充実」をテーマに米谷和也教育長と熱心に語り合いました。

教育長と市内のPTA会長らが話し合う場として初めて開催され、PTA会長や同協議会役員ら約50人が参加しました。

米谷教育長より「21世紀を生きる子供たちに何を伝え、何を残したいですか?」との問いかけから話し合いが始まり、市が目指す教育などの説明があった後、参加者がグループに分かれ、子供たちの学校づくりのためにPTAができる事などを議論しました。

研修会終了後、懇親会もありお互いの親睦を深め、有意義な小・中学校部会となりました。



▲米谷教育長
高岡市の教育について説明



▲グループで真剣に話し合う
市PTA会長ら

「ほ場視察研修会」



11月8日(金)、たかおか地産地消推進ネットワーク主催の「ほ場視察研修会」がありました。小・中学校の給食では、高岡産の野菜を取り入れる地産地消を行う事で、新鮮で旬な物を使った、より安全で安心な給食を提供して下さっています。今回、渡辺農園さんのネギ、北陸営農組合さんのキャベツの収穫体験をさせていただきました。生産者さんが共通して話されていた事は、毎年改善しながら、試しながら野菜を作っているという事でした。毎年美味しい野菜を作るために、沢山の苦勞と工夫をしておられるのだと感じました。食育という言葉が当たり前に使われる時代となり、家庭でできる食育として、「家族揃っての食事」「早寝早起き朝ごはん」「食材を選ぶ際は安全・安心な地元の物を」「家庭菜園や農作業体験への参加」の4つがあると聞きました。食は命の源。生産者さんたちに日々感謝しながら、子供たちに食の大切さを家庭でも伝えていけたらと思います。

『少年鑑別所から見た子供たち』

～子供がすこやかに育ちゆくために私たちにできること～ 教育環境講演会

11月18日(月)教育環境講演会が、高岡市役所802会議室で行われました。興味あるテーマであり110名という大変多くの参加者がありました。

講師の下原正裕先生は、名古屋少年鑑別所 富山少年鑑別支所長であり、今まで多くの子供たちやその家族と日々向き合い、問題行動分析・更生指導・生活支援を行っている法務(心理)技官を務めておられます。その経験からのお話は大変興味深く、心理テストあり、とてもわかりやすく聞くことができました。

とくに、子供とのコミュニケーションの一工夫では「私はあなたが〇〇」からで始まる『届きやすい』メッセージで語り掛け、決めつけ・嫌味を言わずその上で「どうしたい・どう思う」を問いかけることが重要であるということ学びました。また、良くできている行動を見逃さず、『ほめる』ことで自分は認められている自覚の促進になることも教わりました。

参加者の多くの方に、よかったです。大人の発言に気を付けるなどの感想をいただきました。

最後になりますが、ご多忙の中講演いただきました下原先生に感謝申し上げます。

また、役員の皆様、PTA会員の皆様大変多くご参加いただきました。ありがとうございました。



～キッズ・レストラン～ 給食・保健、家庭教育合同委員会



11月2日(土)給食・保健、家庭教育の合同企画である「第2回キッズ・レストラン」を伏木ブロックの小学5、6年生を対象に古府公民館で開催しました。

11組の親子が参加し、県P連アドバイザーの吉川先生指導のもと中華風ハンバーガー、中華スープ、チヂミ、タピオカドリンクの4品を児童で調理しました。その間、保護者は隣室にて親学び推進リーダーの仁岸講師を中心に保護者間交流を深め、試食会で使用する箸置き、コースターを折り紙にて制作しました。

宮田会長が見守る中、試食会では子供たちの作ってくれた料理で親子に笑顔があふれとても和やかな会となりました。

高岡市P連ではこのような親子参加型の企画もしていきますので良い親子関係づくりに役立てればと思います。

第68回日本PTA全国研究大会富山大会 スローガン 『キトキト みんなで とやまなび』

第76回日本PTA東海北陸ブロック研究大会富山大会 ～こころが今日も笑顔でありますように～

特集 全国研究大会 ～Part2 現在編～

今年度のPTA広報たかおかでは、2020年に富山で開催される日本PTA全国研究大会に向け「日P全国大会」について「過去」「現在」「未来」とお伝えします。それでは2回目は「現在編」をご覧ください。



大会に対する思い

『どうして全国大会をするのか』ということをよく聞かれます。私自身、この富山大会(全国大会)の意義は、開催すること自体が目的ではないと思っています。例えば、本大会を企画・開催するにあたり、県行政・市町村行政並びに県教育委員会・市町村教育委員会との更なる連携が必要になります。その為には、県内各PTAとの連携強化が必要不可欠です。本大会の開催を色々な意味で利用し、今現在の我々のPTA活動の存在意義を対内外に発信する、絶好の機会だと捉えて頂ければと考えています。『すべては未来を担う子供たちのために』という我々PTAの共通の思いの実現の為に、本大会への多大なるご協力の程、どうぞ、宜しくお願い致します。



プロフィール
本江 学
富山県PTA連合会会長
日本PTA全国研究大会実行委員長

「とやまなび」とは

- (1)「とや(ま)なび」ここ富山で様々なことを一緒に学びたい
- (2)「とやまなび(T・oyamanabi:T・観学び)」人と人とのつながりの大切さ、子育ての知恵の継承など、多様な学びのある富山生まれの「観学び」の手法を共有したい
- (3)「とやまnavi」ここ富山から、今、そして、(社会教育関係団体として)これからのPTAのあり方、意味や意義を道案内(navigation)したい

組織図



4つのメインテーマ

- ・大切な命を尊び、強くたくましく生きる力を育むPTA活動
- ・家庭・学校・地域と共に創るPTA活動
- ・郷土を愛し、郷土に誇りを持つPTA活動
- ・未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動



日P大会参加報告 宮田 淳也

8月23日(金)、24日(土)に開催された第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会に約50名で参加してまいりました。

いよいよ来年に迫った富山大会のPRという大仕事もあり、これまでにない大所帯での参加となり、初日の明石市での分科会と2日目の神戸市での全体会それぞれにおいて熱いPRを全員で行いました。

特別第2分科会は、我々高岡が来年担当させていただくことから、会場レイアウトや運営、基調講演及びパネルディスカッションの内容・進行等を細かく観察してまいりました。

「家庭・地域とともにある学校づくりを目指した～コミュニティ・スクールという仕組みづくり～」というテーマのもと、兵庫教育大学教職大学院教授でコミュニティ・スクールマイスターの小西哲也氏の基調講演があり、その後、「家庭・地域とともにある学校づくりに有効なコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進にあたって、PTAがどのように関与していくか」を討議視点にパネルディスカッションが行われました。

分科会終盤に「次年度大会」のPRの時間をいただき、PR動画やメッセージ、そして高岡のゆるキャラ「利長くん」にも友情出演してもらい第68回日本PTA全国研究大会富山大会への参加を熱く呼びかけてきました。

2日目の全体会では、宝塚歌劇団OGの皆さん等による歓迎アトラクション、メンタリストDaigo氏による記念講演の後、今回参加した富山県約350名による庄巻のPRに高岡のメンバーも加わり、兵庫のスタッフや他県の方々から「こんなに大人数のPRは初めて!」「いったい何人でPRに?」という驚きの声や「来年は必ず富山に行きますね」といったあたたかい言葉をたくさんの方々にかけていただきました。

いきごみ

実行委員長 宮田 淳也

今回の兵庫大会に参加して、明石市P連の皆さんから熱い歓迎と厚いおもてなしを頂いたことや、神戸での「大PR」の一員として参加できたこと、富山大会の実行委員長である我が本江学顧問の満足な笑顔を見ることができたことなど…たくさんの収穫がありとても良かったと思います。

第68回日本PTA全国研究大会富山大会の開催時期はちょうど東京オリンピックとパラリンピックの開催の狭間となります。

来年も様々な競技でニッポン代表が躍動し、子供たちに、日本中に再び夢と希望、素晴らしい感動をもたらしてくれることを心から期待するのですが、そのオリンピック・パラリンピックの熱気に乗じて、いいえ、負けないくらいの情熱で全国大会を盛り上げ、私たちPTA、親の背中を見て子供たちが何かを感じてくれるよう頑張りたいと思います。

総務部長 浦野 征一郎

徳島→仙台→新潟→兵庫とリレーされた全国研究大会のバトンが令和2年夏：第68回大会に向けて富山県に渡されました。本大会の総務部門責任者を拝命し、全国から集う約8,000名のPTA関係者が有意義な教育・子育て情報を共有し、そして富山流のおもてなしを体感していただけるよう全体のサポートを推進していく次第です。8月28日(金)午後には高岡文化ホールにて特別第2分科会も開催されますので、市内PTA関係の皆様方のご協力も併せてお願い申し上げます。

運営担当 野村 匡一

日P富山全国大会実行委員会では運営専務として、また高岡で開催される特別第2分科会実行委員会では実行副委員長として大会の成功を目指して頑張っています。

全国のPTAの仲間と出会いふれあい楽しく交流できる貴重な機会となります。

「子供たちが未来に向かって明るい夢や希望を持ちたくましく生きていけるように」参加者同士共に学び共に成長できる大会を目指して実行委員会メンバー一丸となって努力して参ります。

また、「おもてなしの精神」をもって他県からの参加者の皆様をお迎えし、富山(高岡)の魅力も発信したいと思います。

皆様方のご理解・ご協力よろしく申し上げます。

総務担当 高橋 伸忠

第68回日本PTA全国研究大会富山大会が、来年東京オリンピックイヤーの8月に開催されます。私はこの富山大会実行委員会総務部に意向となり、最初は「わからない事がわからない」状態で焦りましたが、最近やっと「わからない事がわかる」ようになり、別の意味で焦ってきたのが正直なところです。

また、今年参加した兵庫大会特別第2分科会(明石市)の「おもてなし」には正直圧倒されました。明石の運営マニュアルに記載されていた「笑顔・あいさつ・心配り」は言われてすぐできるものではなく、スタッフ全員が同じ意識付けで準備された成果だと思っています。私は幸運にも富山大会特別第2分科会(高岡市)の組織メンバーでもあるので、実行委員会本隊とのパイプ役も兼ね、「A.L.L.富山・A.L.L.高岡」で「段取り八分」で準備を進めていきたいと思っています。皆さま、ご協力よろしく申し上げます。





能町小学校PTA

PTA会長 坂井 英明

豊かな心を持ち、たくましく生きる子供の育成

能町小学校PTAでは「教育の原点は家庭から」をスローガンに、PTA活動を通し家庭・地域・学校と連携し、子供たちが楽しく安全に活躍し、思い出を提供できるよう日々取り組んでいます。

その中で、毎年5年生が地域の方々のご協力のもと、田植えから稲刈りを学校の授業で行い、その収穫したお米を先生方と親子で餅つきをして頂きます。この生産から消費までの過程を体験する事で、生きるために重要な「食」について学び、子供たちが豊かな心を持ち、たくましく生きる力を培ってほしいと願っています。

同時に私たち保護者は、地域、学校との連携を再認識し、支え合う大切さや感謝といった事をいつの時代へも引き継がなくてはなりません。

今後とも私たちPTAが協力し合い、子供たちと共に保護者も成長できる活動を推進したいと思います。能町っ子の笑顔がずっと続くために。



成美小学校PTA

PTA会長 松田 崇尚

心の花を育てよう

成美小学校は明治16年に創立され、今年で137年を迎えました。創立100周年時に花壇が造設されて以来、全校一団での花壇造りに力を入れております。

成美小学校PTAとしても毎年4月より花壇造成の活動をお手伝いし、学校・地域の協力により美しい花々を咲かせるべく活動に取り組んでおります。

本年度7月に行われました令和元年度第62回花壇コンクールでは、過去3年間に市長賞を受賞した団体に贈られる「モデル花壇賞」を受賞させて頂きました。これも子供たちが日々取り組んでいる花々のお世話と、地域の皆様のご指導・ご協力の賜物と考えております。

花を愛する豊かな心が優しい心の花を育てるととらえ、学校・地域・PTAが連携して今後も活動に取り組んでまいります。



万葉小学校PTA

PTA会長 岡畑 克之

「伝統の餅つき大会」

万葉小学校では毎年PTA主催の餅つき大会を開催しています。3年生と5年生が田植と稲刈りをし、収穫されたもち米で先生方や、保護者、地域の皆様の協力を頂きながら創校以来40年間毎年実施してきました。

低学年の児童は「よいしょ、よいしょ」の掛け声がとても可愛く、この上ない声援となっています。高学年の児童ともなると一人で餅をつく事も出来る様になり、逞しく成長している事を改めて実感する日にもなっています。

地域の皆様とのイベントは少ないのですが、子供達が美味しそうにお餅を食べてくれる笑顔を見ていると、この子供達が親となった時代にもこの餅つき大会が伝統行事として残っていて欲しいと願わずにはいられません。

これからも地域の為、万葉小学校の為に保護者全員、力を合わせてPTA活動に取り組んで行きたいと思ひます。



志貴野中学校PTA

PTA会長 沖 康一

令和時代を迎えてのPTA活動



学校の教職員の過重労働が問題視される中、部活動に関しては行政で対策が練られています。並行して、今年度の志貴野中PTAでは、教職員の保護者対応を削減するために、PTA業務のスリム化を図りました。

①保護者役員への連絡案内方法の見直し(紙媒体全廃→電子メール)

②会合・懇親会の削減

③広報誌の見直し(校区全世帯配布→町内回覧&学校ホームページ掲載)

④夏休み夜間巡回の廃止

⑤あいさつ運動の見直し(保護者主催→生徒会主催)

今年度、志貴野中学校PTAでは『教育の原点は家庭から』を活動スローガンに挙げました。

改善の結果、保護者、先生が家庭にいる時間が増え、親子が共にする時間が増え、先生方は本来の業務である授業に専念が出来て、生徒たちと向き合う時間が増えました。

PTA業務はスリム化しましたが、これからも志貴野中では、先生方と保護者と地域のパイプは太くして、生徒の教育環境整備のために取り組んでいきます。



こまどり支援学校PTA

PTA会長 山本 恭子

地域に根ざした笑顔あふれる学校



本校は、高岡市、氷見市、射水市の3市から児童生徒が通学していますが、地域の温かなつながりを感じる学校です。運動会や学習発表会では、市内の交流校の中学校の生徒さんが多く参加され、温かな応援の中で子供たちは張り切って競技や演技をしています。地域の小学校ともゲームやダンスをして交流活動をしています。また、近隣の町内の方とクリスマス会をしたり、社会奉仕団体とポッチャやボウリング等のゲームを楽しんだりしています。PTA活動では、

ボウリング大会を企画し、親子や兄弟も一緒にボウリング場でプレイをし、家族で楽しむ機会となっています。また、カルチャー教室を開催し学習発表会の地域交流作品室への展示に向けて作品を作り、保護者も作品展示に参加しています。

学校、家族、地域の大勢の方々の心温かい協力と連携の中、子供達の笑顔があふれる学校であるよう、これからもPTA活動に取り組んで行きたいと思ひます。



東海北陸ブロック研究大会三重大会参加報告

副会長(総務担当) 高橋伸忠



10月18日、19日の両日、津市をはじめ、他3市で開かれ、東海北陸ブロック6県と名古屋市のPTA関係者約2,900人が参加しました。大会テーマは、「『三重の輪』からひろがる新時代家庭の輪・学びの輪・地域の輪～子供たちの未来へ～」。新たな時代を担う子供たちのため、明るい未来を築こうというPTAの熱い思いと固い絆を表現し、子供たちが夢をもち、自ら未来を切り開けるようになるための土台として、家庭や学校、地域の協働をテーマに掲げていました。

津市産業スポーツセンター・サオリーナで開かれた19日の全体会では、オープニングに、郷土芸能の津しゃご馬、分部町唐人踊り、津高虎太鼓が披露されました。威勢のいい和太鼓や、歴史に彩られた踊りなど、地域に根差した芸能には人々の熱い繋がりを感じました。開会式で功労者の表彰などがあった後、記念講演では、最初に、書家でダウン症の金澤翔子さんが舞台上で大筆を使って、母親の泰子さんが話す話題「共に生きる」を揮毫(きごう)するパフォーマンスを披露。続いて、泰子さんが翔子さんを育てた経緯について振り返り、「子供や障害者は周囲が思っているより能力がある。その素晴らしい力を尊重して信じてあげてほしい」と呼び掛けました。

富山県からは総勢240名が6つの各分科会と全体会に、来年の全国大会のPR隊を兼ねて参加しました。前日の18日には、高岡市PTA連絡協議会からは32名が、伊賀市文化会館第6分科会での富山市立芝園小学校PTAと伊賀市立阿山中学校PTAの皆さんの発表を聴講してきました。地域連携というカテゴリーで、子供たちの通学を見守る活動や、地域と子供たち、そして保護者が繋がりをもてる事業の発表をされていました。パネルディスカッションでは、それらの活動・事業を継続していく為の課題や重要性について意見が述べられ、地域と保護者と学校が連携するには、何よりも学校の理解・協力が必要であり、「教頭の心をわしづかみにする」のが一番大切というコメントに納得できました。



2020年の日本PTA全国研究大会富山大会では県内のPTAパワーの結集が必要です。たくさんの人脈交流と同志の目指す方向が再認識でき、大変有意義な2日間となりました。「ALL富山」、「ALL高岡」で全国大会に向けて準備を進めていきます。

第7回富山県PTA会員大会

CHANGE～新たな出会い 新たな学び とともに未来へ～

野藏昌士

メインテーマ『CHANGE～新たな出会い 新たな学び とともに未来へ～』のもと第7回富山県PTA会員大会が多数の県内PTA会員参加のもと盛大に開催されました。高岡市PTAからも250人余りが各分科会に分かれて参加しました。それぞれの分科会では会員相互の交流やたくさんの新たな学びを得ることができました。

私は県PTA家庭教育委員会のスタッフとして第3分科会の「スポーツ活動と食育について」講師乳井優生氏による講演会を担当させていただきました。子供の成長に大きく影響を与えるスポーツ栄養について、摂取に必要な食品栄養事例をもとにわかりやすく解説いただきました。

全体基調講演では「子は育ち、親も育つ 楽しまなくっちゃもったいない」のテーマで育児漫画家 高野優氏による講演が行われました。高野氏自身が3人の子育てを通じて子供から教えられ気づかされたことや、ご自身の子供時代に、ある先生との出会いから励まされたことなどエピソードを交えてお話しいただき、「子供達への暖かい言葉かけは子供達の将来の心のお守りになること、人は人でしか育たないこと」など強く印象に残る素晴らしい講演会だったと思います。



そして、夜には大懇親会がホテルグランテラス富山で賑やかに開催され県内各PTA会員の交流と懇親が図られました。

大会二日を通じて、来年開催される「第68回日本PTA全国研究大会富山大会」へ向けて県内すべてのPTAが共に行動し、力のあるチームづくりへの機運を醸成されたとても充実した会員大会でした。

編集後記

平成から令和の時代が変わった二〇一九年も残すところ、一カ月を切りました。前号でも紹介しましたが、今年の夏は日本PTA全国研究大会兵庫大会が開催されました。大会初日、私たち高岡市PTA会員は明石市で開催された「特別第二分科会」に参加させて頂きました。JR明石駅から会場までは、地元PTA会員の方々が案内してくださいました。その地域に住んでいくからこそ知っている情報やお知らせのお土産なども教えて頂き、と知ることはできなかつたことだと思えます。

いよいよ来年度は富山大会が開催され、この富山に全国から沢山のPTA会員が集います。未来を担う子供たちのため、これからのPTAの在り方を探求するだけでなく、会員同士の連携や交流を通して、富山さらには高岡の魅力をも一人でも多くの方に伝えられる有意義な大会にできたらと思えます。今回発行にあたり、ご協力頂けた皆さまに感謝申し上げます。戸出西部小学校 奥村 清史

広報たかおか第159号編集スタッフ

委員長	山口 泰祐(志貴野中)
副委員長	長谷川健一(石堤小)
編集	荻野 英樹(国吉中)
	山崎 就一(国吉小)
	土田 裕次(福岡中)
	森本 由香(福岡小)
単P紹介	林 清浩(成美小)
	中川まりこ(能町小)
	小栗 宏子(台出中)
	小竹 幸夫(台出中)
	松尾 聖子(台出東小)
	奥村 清史(台出東小)
	濱谷 益美(牧野中)
	高野 珠美(牧野小)
	小倉 大(牧野小)
市P関連	
副会長	小倉 大(牧野小)